

活性化委員会行政視察報告（平成26年11月4日～6日）

参加者：春山敏明、金子保利、小暮博志、本郷淳一、鈴木靖宏、岡村恵子
事務局：小筆重紀、飯塚麻加

4日(水)視察：愛知県一宮市 (調査結果の内容)

(1) 一問一答方式

1. 一問一答方式は、平成17年より実施。1人70分。全員が実施。
2. 一問一答方式ノメリット：判り易い。デメリット：全問できないときがある。この時は、議運で嚴重注意する。
3. 執行部との打合せは、特別決めていない。(行っている様である。)
4. 早いもの早い者順。(同時の時は、クジ)
5. 反問権：認めていない？

(2) 予算、決算審査

1. 特別委員会は設置せず、常任委員会に分割付託。
2. 予算は3月議会で審議。決算は9月議会に付託し、閉会中審議。(時間は制限なし。)
3. 決算審査結果は、12月議会で報告。
4. 1日1委員会を開催。
5. 市長、副市長出席。
6. 議長は複数年可。

(3) 議会中継

1. 本会議のみインターネット生中継。
2. 生中継のみをユーストリーム配信。(11万円)
3. 本会議のみインターネット録画配信。(1,282万円年間)
4. CATV は12月より本会議のみ放送予定。
5. 庁内生中継：本会議、常任委員会。

(4) 会議録

1. 検索システム有り。(ASP方式)
2. 会議録(冊子)配布は、18冊。(議員への配布は無し。)
3. パソコンを貸与。

5日(木)視察：広島県東広島市 (調査結果の内容)

(1) 一問一答方式

1. 一問一答と一括質問一括答弁の選択制。
2. 一問一答方式メリット：傍聴者に判り易い。デメリット：高度な技術が必要か？
3. 90%が一問一答方式。
4. 反問権は認めている。範囲：趣旨内容、背景、根拠。H25. 4. 1に一件あり。
5. 市長が主に答弁。(全て、市長答弁)
6. 一般質問時間は質問時間35分。

(2) 予算、決算審査

1. 予算特別委員会は議長を除く31名、分科会方式、14日間。
2. 各予算委員会で3日の審議を実施。計12日。(3日の中に議案審議もある。)
3. 決算特別委員会を設ける。(各委員会から3名。計12名。)
4. 8日の決算委員会を実施。12月に討論をする。

(3) 議会中継

1. インターネット中継は本会議のみ。録画中継。委託料497千円。
2. 市民のアクセス数：1,221回/月平均。
3. CATV中継：本会議のみ、生中継。

(4) 会議録

1. 検索システム：庁内LANのみ有り。
2. 会議録(冊子)配布あり。(75部印刷)
3. 会議録のペーパーレス化は今後。タブレットの貸与：H26年度予定。(9.7インチ)

各市で色々な考えの元、議会運営を行っている事を勉強できた。佐野市の議会活性化に生かして行きたい。

